

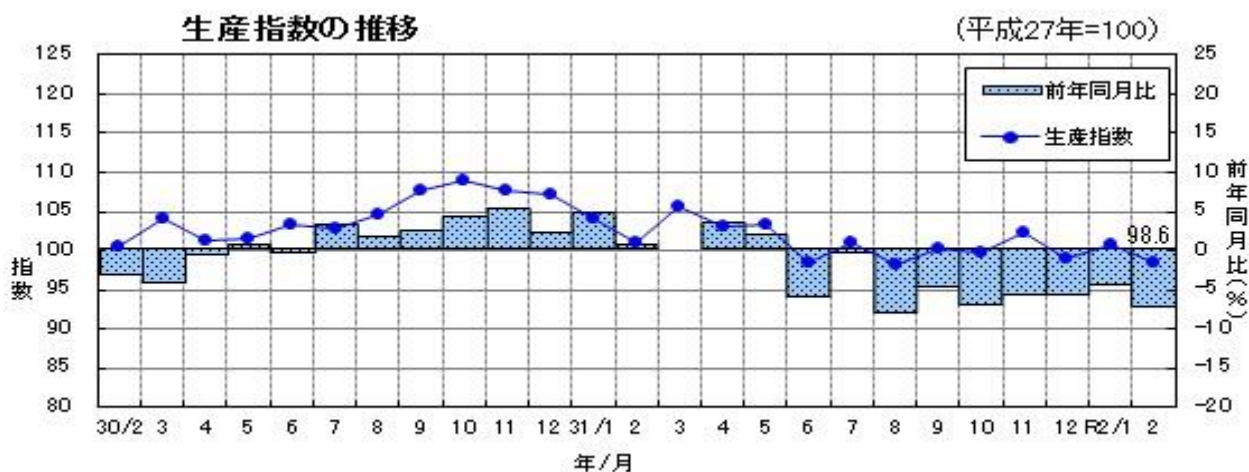


1 生産指数の動き

令和2年2月の鉱工業**生産指数**(季節調整済:平成27年=100)は**98.6**となり、前月比は**2.2%減**と**2か月ぶりに低下**した。

また、**前年同月比**(原指数)は**7.1%減**と**9か月連続して前年を下回った**。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、化学、電気機械、食料品・たばこ等が上昇する一方、汎用・生産用・業務用機械、輸送機械、プラスチック製品等が低下した。

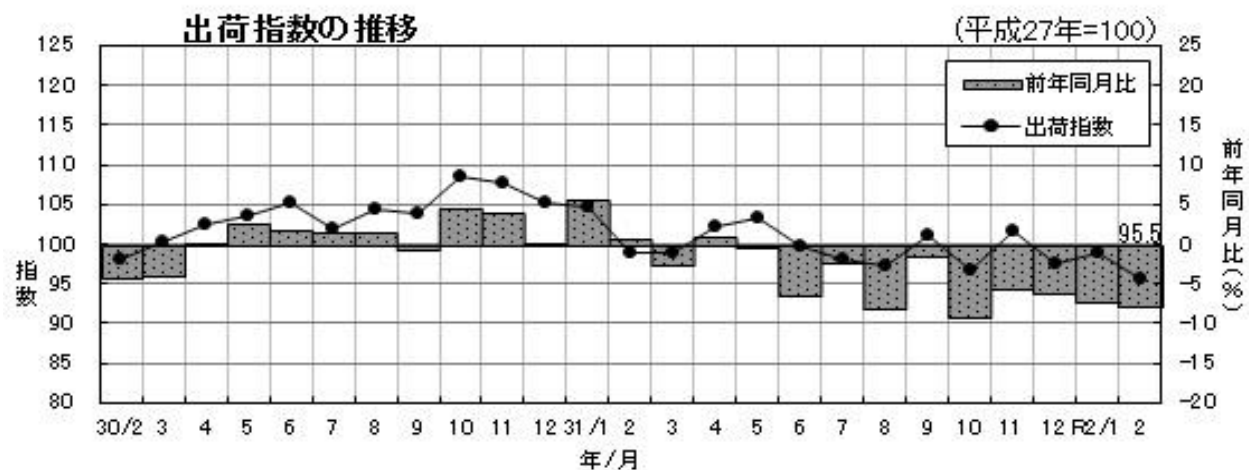


2 出荷指数の動き

令和2年2月の鉱工業**出荷指数**(季節調整済:平成27年=100)は**95.5**となり、前月比は**3.5%減**と**2か月ぶりに低下**した。

また、**前年同月比**(原指数)は**7.7%減**と**10か月連続して前年を下回った**。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、電気機械、化学、情報通信機械等が上昇する一方、輸送機械、食料品・たばこ、汎用・生産用・業務用機械等が低下した。

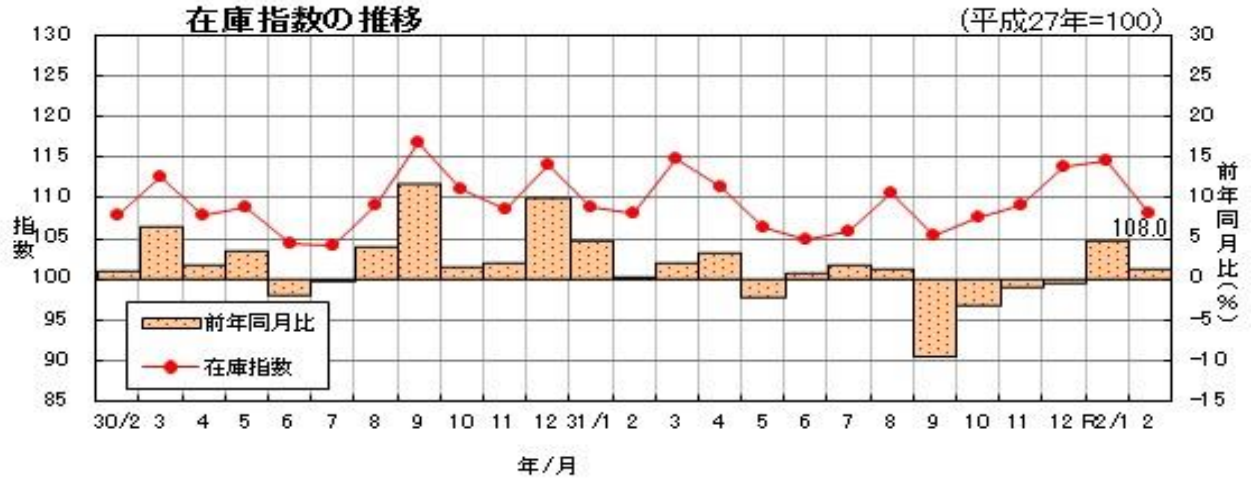


3 在庫指数の動き

令和2年2月の鉱工業在庫指数（季節調整済：平成27年=100）は108.0となり、前月比は5.8%減と5か月ぶりに低下した。

また、前年同月比（原指数）は1.3%増と2か月連続して前年を上回った。

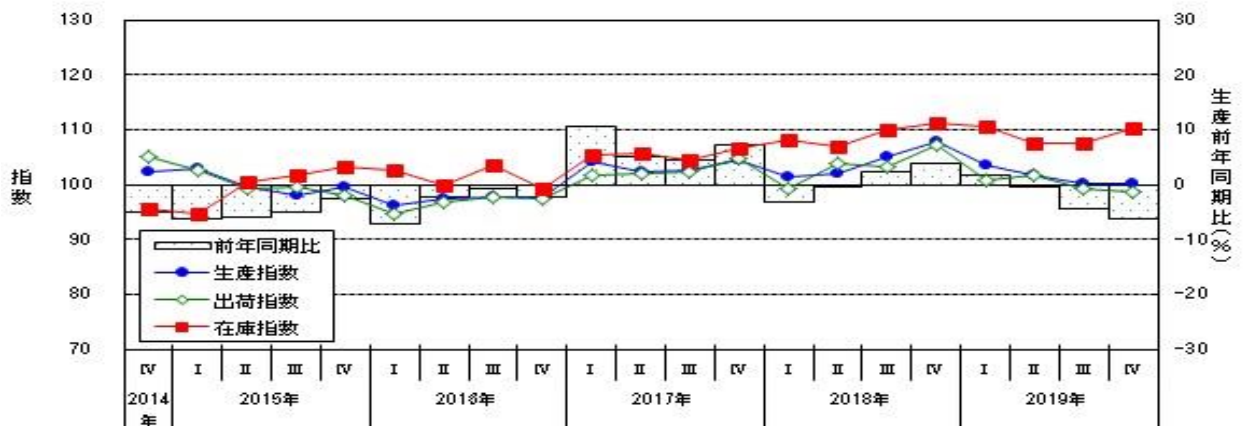
業種別の前月比（季節調整済指数）では、汎用・生産用・業務用機械、食料品・たばこ、プラスチック製品等が上昇する一方、化学、電気機械、その他製品等が低下した。



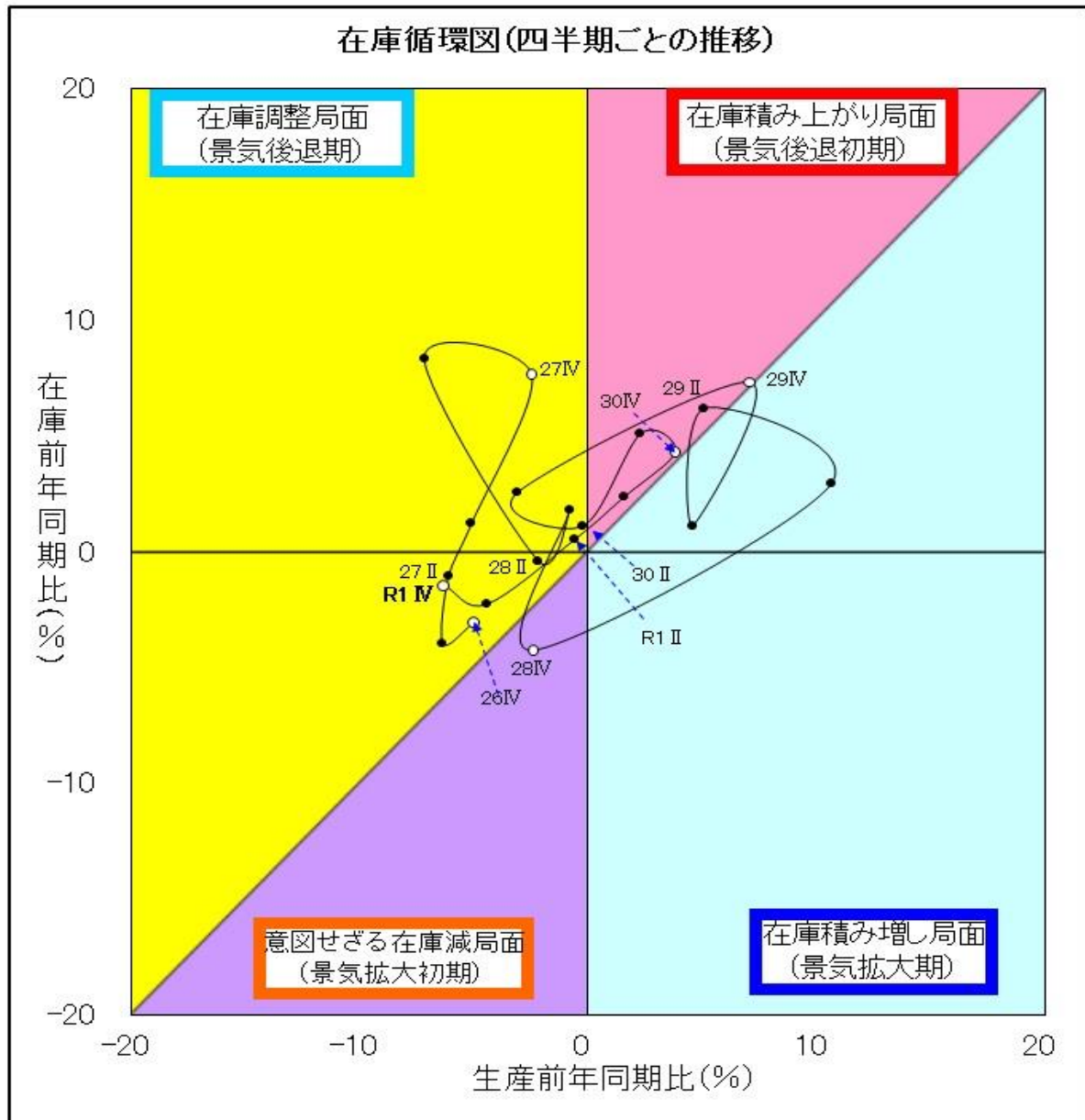
<参考1> 四半期推移及び在庫循環図

鉱工業指数の四半期推移

(平成27年=100)



在庫循環



- ・ **在庫積み増し局面（景気拡大期）**
需要が供給より多くなると、生産を拡大し、在庫を積み増して需要に対処する。
- ・ **在庫積み上がり局面（景気後退初期）**
供給が需要より多くなってくると、生産の伸びが鈍化し、在庫が適正水準を超え、在庫の積み上がりが起こる。
- ・ **在庫調整局面（景気後退期）**
適正水準を超えた在庫を減らすため、生産を抑え、在庫調整を図る。
- ・ **意図せざる在庫減局面（景気拡大初期）**
需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する。